

発掘調査成果の公開等

1 発掘体験，地層学習を実施しました

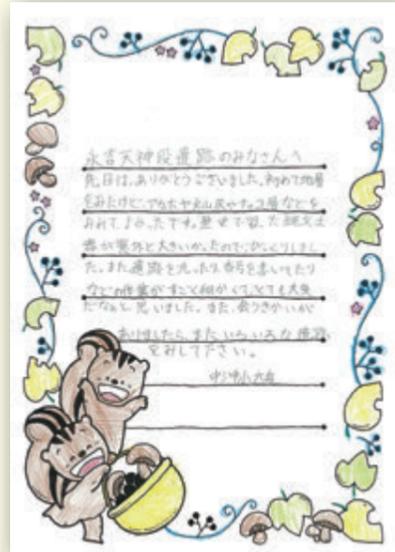


発掘体験(大崎町教育委員会：8月)



地層学習(中沖小学校：11月)

永吉天神段遺跡では、8月から11月にかけて発掘体験や地層学習を受入れ、弥生時代の生活や土器、石器などの道具の学習をしました。発掘体験に参加した子供たちは、自分の手で発見した遺物を手に感動した様子でした。また、小学校の地層学習では、興味津々な様子で6,300～7,300年前の火山灰を採取していました。今後とも地元教育委員会と連携を図り、教育活動に協力していきます。



地層学習参加児童の感想

2 テレビで紹介されました



3 現地説明会を実施しました



- 立小野堀遺跡(位置図③)の地下式横穴墓がMBC南日本放送の番組『てげてげ』で紹介されました。
- 12月20日に川久保遺跡(位置図⑥)で現地説明会を実施し、220名が来跡しました。

発掘体験・遺跡見学下半期実施状況

遺跡名	月日	名称
田原迫ノ上遺跡	10月9日	県内高規格幹線道路現場研修会視察(60名)
永吉天神段遺跡	10月23日	大崎町立菱田小学校6年生遺跡見学(80名)
永吉天神段遺跡	11月8日	「地域が育む『かごしまの教育』県民週間」現地説明会(212名)
永吉天神段遺跡	11月11日	大隅教育事務所埋蔵文化財現地研修会(10名)
永吉天神段遺跡	11月13日	大崎町立中沖小学校遺跡見学(19名)
川久保遺跡	12月20日	現地説明会(220名)

※2月11日(水)(建国記念の日)に京の塚遺跡で現地説明会を行います。
※発掘調査は随時公開しています。詳しくは埋蔵文化財調査センターへお問い合わせください。

(公財)埋蔵文化財調査センターのホームページは、<http://www.jomon-no-mori.jp> または、<http://www.houzanhall.com/zaidan/> からお入りください。

検索キーワード

上野原縄文の森

検索

クリック

～かごしまの遺跡～ 第6号

発行日 平成27年2月2日
編集・発行 (公財)埋蔵文化財調査センター
〒899-4318 鹿児島県霧島市
国分上野原縄文の森2番1号
TEL 0995-70-0574・FAX 0995-70-0575
URL: <http://www.jomon-no-mori.jp>
E-mail: maibunchosa@tuc.bbiq.jp

公益財団法人 鹿児島県文化振興財団埋蔵文化財調査センター



～かごしまの遺跡～

第6号 平成27年2月2日

平成26年度下半期発掘調査状況



遺跡全景



調査風景

金属反応探索

鍛冶工房跡

実測風景

川久保遺跡 (位置図⑥)

所在地：鹿屋市申良町
調査期間：H26.5～H27.1
時代：縄文～中世

川久保遺跡は申良川右岸の笠野原台地の縁辺に立地しており、これまでに縄文時代前期(約6,000年前)の土器・石器、古墳時代(約1,400年前)の集落跡、鎌倉時代(約800年前)の建物跡などが発見されています。特に注目されるのは、古墳時代の集落に鍛冶工房が含まれていたことです。2軒の工房跡から出土した鍛造剥片等を比較した結果、大型と小型の鉄製品を製作した工房があることがわかりました。発掘調査では金属探知機等も使用しながら、丹念に鍛冶製作の痕跡を探し、当時の鍛冶技術の解明をめざして調査を進めています。

支援業務:大福コンサルタント(株)

発掘調査状況

中郡遺跡 (位置図①)

所在地：出水市野田町
調査期間：H26.7
時代：中世～近世



中郡遺跡では、これまで鎌倉時代の掘立柱建物跡や輸入陶磁器が発見されていますが、今年度の調査では、13世紀末の道状遺構、土坑、ピットや造成の痕跡が確認されました。

白水B・萩ヶ峯A遺跡 (位置図②)

所在地：鹿屋市白水町
調査期間：H26.5～H27.2
時代：旧石器・縄文



高須川支流近くの谷頭にある約2万4千年前の地層から、旧石器時代のナイフ形石器、礫群が見つかりました。

田原迫ノ上遺跡 (位置図④)

所在地：鹿屋市串良町
調査期間：H26.5～H27.1
時代：旧石器・縄文・弥生



縄文時代早期（約8,500年前）の竪穴住居跡、連穴土坑、集石が多数みつっています。

支援業務：国際文化財（株）

牧山遺跡 (位置図⑤)

所在地：鹿屋市串良町
調査期間：H26.5～H27.1
時代：縄文・弥生・中世



発掘現場で土器などの「洗浄」「注記」「一部接合」の基礎的な整理作業も行っています。

支援業務：(株)イビソク

京の塚遺跡 (位置図⑦)

所在地：大崎町持留
調査期間：H26.5～H27.2
時代：縄文



土坑の中に土器が入っている様子

縄文時代前期～中期初め頃（約5,000年前）の土器が大量に出土し、約140基の土坑を調査中です。

永吉天神段遺跡 (位置図⑧)

所在地：大崎町永吉
調査期間：H26.5～H27.1
時代：旧石器～近世



写真は、15世紀前後の人の火葬を行ったと考えられる土坑です。手前に空気の入入口と考えられる掘りこみがあり、壁面に石組みがなされています。支援業務：(株)パスコ

荒園遺跡 (位置図⑨)

所在地：大崎町仮宿
調査期間：H26.5～H27.1
時代：縄文～近世



古代以前のもと考えられる「片葉研堀」と呼ばれる形状の大きな溝が検出されました。

支援業務：新和技術コンサルタント(株)

てらうえ 平良上C遺跡 (位置図⑩)

所在地：大崎町井俣
調査期間：H26.11～H27.2
時代：縄文



田原川に面する台地の縁辺部に位置し、地形に大きい起伏のある調査区です。縄文時代早期の土器や集石がみつっています。

遺跡位置図

平成26年12月21日東九州自動車道曾於弥五郎IC～鹿屋串良JCT間が開通しました。



整理・報告書作成



破片を集めて元の形を復元しています

発掘調査で出土した土器は、(公財)埋蔵文化財調査センターの整理作業所に運び、土器の破片をつけて元の形に復元する作業を行います。なかには近畿地方や瀬戸内地方から持ち込まれたと考えられる土器もみつっています。当時の人々の生活や物の移動の様子を探るため、さらに分析を進めていきます。



前原遺跡で出土した瀬戸内地方の土器

前原遺跡で出土した東海地方の土器

京の塚遺跡で出土した近畿地方の土器

京の塚遺跡で出土した瀬戸内地方の土器